

ドイツ語 (German)

ドイツ語入門 (Introductory German)

(夜間主 (全 1~ 4 年))

井戸 慶治・准教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

1 単位 前期 水 13・14

(平成 19 年度以前の授業科目: 『ドイツ語入門』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『ドイツ語 (1)』)

【授業の目的】 ドイツ語の基礎を習得し、またドイツ事情に触れる。英語以外の外国語を学び、英語圏以外の外国の事情や文化を知ることが、偏りのない健全な国際感覚を持つために必要であり、知的な刺激を得るためにも有益である。ドイツはヨーロッパにおける日本の重要な貿易や文化交流の相手であり、かつて板東収容所でドイツ人捕虜が「第九」を初演したことなどにより、徳島との関連も深い。

【授業の概要】 読章、文法説明、練習問題からなる総合的な教科書を用いて上記のことを学ぶ。知識を少しずつ確実なものにしてゆくため、授業のはじめに前回習った基本的な事項について小テストで問う。時として、視聴覚教材などを用いてドイツ事情、ドイツ文化を紹介する。

【キーワード】 外国語、ドイツ語、異文化理解

【到達目標】 ドイツ語文法の基本や簡単な表現を理解し、応用すること。

【授業の計画】

1. 授業ガイダンス
2. 発音
3. 1 課, 規則動詞の現在人称変化
4. 同上, ドリル問題
5. 2 課, 名詞の性と冠詞
6. 同上, ドリル問題
7. 3 課, 語順, 不規則動詞
8. 同上, ドリル練習
9. 4 課, 不規則動詞, 前置詞
10. 中間テスト
11. 5 課, 副文, 従属接続詞, 人称代名詞, 非人称動詞
12. 同上, ドリル問題
13. 6 課, 話法の助動詞, 未来形
14. 7 課, 分離動詞, 前期の復習
15. 期末試験
16. 総括授業

【教科書】 「行ってらっしゃい」(朝日出版社). 独和辞典が必要であるが、最初の

授業で紹介する。

【成績評価の方法】 中間試験, 期末試験, 平常点 (小テスト, 授業への取り組み方) で、総合的に評価する。

【再試験の有無】 なし

【受講者へのメッセージ】 出席を怠らず、課題をしっかりと果たすこと。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221356>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

⇒ 井戸 (ido@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL